

入学前教育用教材としてのキャリアデザインシートの開発

酒見 康 廣 小久保 美代子

The Development of a Career Design Sheet for Pre-College Learning

Yasuhiro Sakemi Miyoko Kokubo

(2010年11月26日受理)

1. 入学前教育について

推薦入学選考や試験入学選考の合格者（入学予定者）に対して大学が実施する入学前教育は、入学後の大学教育へのスムーズな移行、入学者の確保、また高大連携による事業の一環といった目的のためにも実施する大学が少しずつ増えてきているのが現状である。それは、早くに大学合格が決まって勉学に身が入らぬようになった生徒に苦慮する高等学校側にとっても歓迎されているようである。

以上のような傾向の中で、本学キャリア開発学科では、平成22年度入学予定者から入学前教育を実施することになった。それ以前は本学科では、入学選考合格者に対しては入学までの自学自習（読書や英語のヒアリングなど）のすすめの簡単な案内文書とともに、読書感想文を入学時に提出する課題を課すのみであった。

平成22年度入学選考による本学科の入学前教育は、以下のような方針で実施した。

- ・入学前教育は、高校から大学へのスムーズな移行ができるように、高校生の意識と態度の醸成のために行う。
- ・そのための教材としてキャリアデザインシートを開発する。
- ・キャリアデザインシートは、入学選考合格通知書とともに受験生へ送付する。
- ・スクーリングを12月（推薦入学選考の合格者が対象）と3月（試験入学選考合格者を含めた全合格者が対象）の2回実施する。
- ・スクーリングの内容としては、キャリア開発学科の教育目標、高校と大学の違い、入学までの過ごし方、キャリアデザインシートの使い方などの指導とする。

筆者らは、この中の入学前教育用教材としてのキャリアデザインシートの開発を担当した。それは冊子として平成22年度入学選考による合格者へ配布され、入学前のスクーリングでの教材として、また自宅での学習用教材として活用された。

筆者らは、キャリアデザインシートの効果を検証すべく、入学生に対し新入生オリエンテーション時にアンケート調査を実施した。ここでは、キャリアデザインシートの概要と、アンケートの統計的な分析結果を報告する。

2. 入学前教育用教材の開発

この教材開発の目的は上に述べたとおりである。開発にあたり、以下のような点に工夫を凝らした。

- ・入学前教育用の教材は、表題を「キャリア開発へのウォーミングアップ（入学予定者用キャリアデザインシート）」とする（図1）。
- ・高校生が取り組みやすいワークシート形式の教材にする。
- ・内容の質と量は高校生にとって苦にならない程度のものにする。
- ・内容は、大学全入時代の短期大学生のレベルを考慮したものにする。
- ・1ページ当たりの文字数が多くならないように配慮する。
- ・長い文章になることをなるべく避け、長めの文章では、段落を分けたり、文章枠を分けたりして工夫をする。
- ・ビジュアル的な要素をなるべく取り入れる。キャリア開発学科のイメージキャラクターも多用して、高校生にとって親しみやすいものにする。

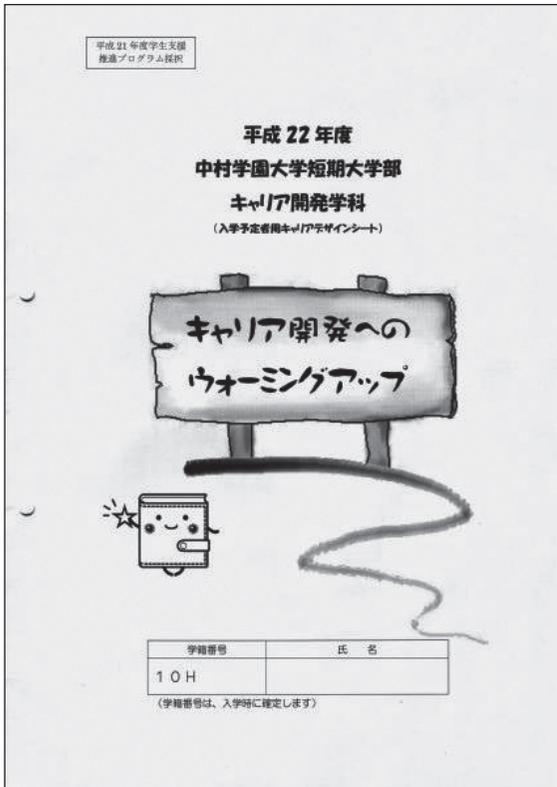


図1 教材の表紙

3. 入学前教育用教材の内容

各ページのタイトルとその内容についての簡単な説明は表1の通りである。ページ欄の数値の後のカッコ書きは、キャリアデザインシートの各ページに記している、ページの性格を表す言葉である。

また、教材の実際の内容を図2・図3に示している。図2・図3では、内容としてやや特徴的な「自分の将来をイメージしよう」、「社会情勢に敏感になろう」、「読書を楽しもう」の各ページを取り上げている。

4. 教材に対するアンケートの実施

4月の新入生オリエンテーション時（平成22年4月5日）に、「キャリア開発へのウォーミングアップ」についてのアンケートを実施した。質問は次の14事項で、Q1～Q10は個別の内容についての質問、Q11は全体についての質問、Q12～Q14は自由記述である。

対象となる新入生180名に対し、アンケートの回収は171部であり、回収率95.0%であった。

- ・Q1：“キャリア開発学科とは”は役に立ちましたか？
- ・Q2：“自分の将来をイメージしよう”は役に立ちましたか？
- ・Q3：“エチケット・マナーを意識しよう”は役に立ちましたか？
- ・Q4：“社会情勢に敏感になろう”は役に立ちましたか？
- ・Q5：“読書を楽しもう”は役に立ちましたか？
- ・Q6：“耳を英語耳にしよう”は役に立ちましたか？
- ・Q7：“海外研修とは”は役に立ちましたか？
- ・Q8：“インターンシップとは”は役に立ちましたか？
- ・Q9：“頑張ったことの記録を残そう”は役に立ちましたか？
- ・Q10：“よい手本はどんどん取り入れよう”は役に立ちましたか？
- ・Q11：総合的に見て、入学予定者用キャリアデザインシートは役に立ちましたか？
- ・Q12：入学予定者用キャリアデザインシートのよかった点について意見があれば書いてください。
- ・Q13：入学予定者用キャリアデザインシートの悪かった点について意見があれば書いてください。
- ・Q14：その他、何か意見がありましたらお書きください。

これらの質問Q1～Q11に対する回答は次の5段階（a～e）のいずれか1つを選択させることとした。

- a =役に立った
- b =少し役に立った
- c =どちらともいえない
- d =あまり役に立たなかった
- e =ほとんど役に立たなかった

上記のカテゴリーデータとしての回答に対し、数量データへ変換するために、a→5、b→4、c→3、d→2、e→1、無回答→0として集計・分析を行った。

表1 教材の内容

ページ	タイトル	内容
1 (案内)	“てちょん”です	学科のイメージキャラクターの“てちょん”の紹介
2 (案内)	キャリア開発学科とは	本学科についてのごく簡単な説明
3 (自習)	自分の将来をイメージしよう	自分の生涯を映画ドラマに見立て、自分がどんな主人公になりたいのか、どんなクライマックスシーンを迎えたいのかをイメージさせるもの (図2)
4 (自習)	エチケット・マナーを意識しよう	取り入れたいと思ったエチケット・マナーと、逆によくないと思ったエチケット・マナーを簡条書きさせるもの
5 (自習)	社会情勢に敏感になろう	新聞記事などから興味を持ったテーマについてのコメントを、独自の論旨で簡潔に書き込ませるもの (図3)
6 (提出課題)	読書を楽しもう	読書のすすめと、入学までの課題である読書感想文についての説明 (図3)
7 (自習)	(6 ページの続き)	読書のひとこと感想を書き込ませるもの
8 (自習)	耳を英語耳にしよう	英語を音として正確に聴き取れるための訓練のすすめ
9 (案内)	海外研修とは、	海外研修の簡単な概要を知らせるもの
9 (案内)	インターンシップとは	インターンシップの簡単な概要を知らせるもの
10～11 (記録・作成)	頑張ったことの記録を残そう	高校時代に、何に頑張ったのか、その結果はどうだったのか、そこから何を学んだのかについてと、取得した検定資格を書き込ませるもの
12 (自習)	よい手本はどんどん取り入れよう	周りなどを見て、取り入れたいと思った習慣、考え方、生き方などを書き込ませるもの

自習のページ

自分の将来をイメージしよう

自分の生涯を映画ドラマとしてイメージしてみましょう。主人公はもちろん自分自身です。ドラマのシナリオは自分でどうにでも自由に思い描くことができます。どんな主人公になるのか、どんなクライマックスシーンを迎えるのかを想像してみましょう。

このようなことができるようになっていく自分は素敵だなあ、あるいはこのようなところで活躍している自分は素敵だなあと思うってしまう、そんな自分の生き生きとした姿をイメージしてもよいです。そのとき、なるべくわくわくするようなあるいは感動的な、自分の感情に強く響くストーリーをイメージします。

イメージするだけですから、多少現実的でなくてもちっとも構いません。具体的な情景がイメージできなければ、ととてもわくわくするような気持ちだけを先取りして味わってみることも構いません。そのあと、どんな情景だったらそのようなわくわくする感情が出るのだろうかと考えてみるのです。

こうして心でイメージした自分の映画ドラマの様子をワンカット分でもよいので、簡単な文章やキーワードあるいはイラストなどで書き留めておきましょう。この自分の心の奥から湧き出すような感情を大事にしましょう。これがこれからの自分にとっては、大きな宝となるかもしれません。



図2 教材の「自分の将来をイメージしよう」のページ

自習のページ

社会情勢に敏感になろう

→ 人前の社会人になるためには、社会情勢にも敏感になる必要があります。とくに新聞記事には、政治経済欄も含めて毎日のように目を通しましょう。

新聞記事の中で、自分が興味を持ったテーマについて、自分独自の見解をコメントとしてまとめてみましょう。記事の概要を書くのではなく、独自の論旨を自分の言葉でまとめます。



テーマ	
コメント	
テーマ	
コメント	
テーマ	
コメント	

提出課題のページ

読書を楽しもう

読書は心の糧であり、教養ある社会人になるためには必須の事項でもあります。また、様々な状況で要求される文章表現力は、読書によって培われるものでもあります。

でも、義務感で読むのではなく、とにかく読書の世界のおもしろさにのめり込んでみることです。入学するまでに、なるべくたくさんの本を読んでみましょう。



そのうちの一冊の新書本（岩波、中公、講談社、丸善、PHP などの新書）の読書感想文を400字詰め原稿用紙3枚（1000～1200字程度）にまとめましょう。A4判の原稿用紙の、1行目に「(署名タイトル)を読んで」、次の行に著者名と出版社名、さらに次の行に出身高校名と氏名を記入します。タイトルが長いときは、2行にまたがって記入してください。右上をホッチキスで止めてください。第2回ウォーミングアップスクーリングのときに提出です。

図3 教材の「社会情勢に敏感になろう」「読書を楽しもう」の各ページ

5. 入学前教育用教材に対するアンケート集計の分析結果

今回のアンケートの集計結果は、表2のとおりである。この表からはQ6（耳を英語耳にしよう）が相対的には役立ち度がやや低いことがわかる。この結果の無回答を含むデータを除外したもの（対象数 $N = 164$ ）に対し、顧客満足度（Customer Satisfaction）としてのCS分析を適用することにした。各項目Q1～Q10それぞれと総合的役立ち度のQ11との相関係数を偏差値へ変換した値、および回答a（役に立った）またはb（少し役に立った）を合わせた値（役立ち度）を偏差値へ変換した値の一覧が表3である。表3をグラフ化したのが図4のCSグラフである。CSグラフの右下に位置するほど、各項目と総合的役立ち度との単相関は高くなるものの、質問項目内容の役立ち度は低くなり、その項目内容の改善が求められることになる。改善領域は50%以下とした。改善度指数は、修正指数×プロット位置の基準点からの距離で求められるが、ここでは基準点をS（50, 50）、右下の点をQ（70, 30）とし、各プロット点をPとして、線分SQと線分SPとのなす角を θ としたとき、修正指数を $\cos \theta$ とした（菅 [2]）。ただし、改善度指数は、 $\cos \theta$ の値を求めなくても、ベクトルSQとベ

クトルSPの数ベクトルの標準内積をベクトルSQの大きさを割ることで求めることができる。改善度指数のプラスの大きな値ほど、その項目内容の改善が求められることになる。表4は改善度指数を値の大きい順に並べたものである。これによると、教材としての改善が求められる項目はQ6（耳を英語耳にしよう）とQ9（頑張ったことの記録を残そう）、次いでQ4（社会情勢に敏感になろう）であることがわかる。

質問Q13に対する回答として次のようなものがあった。

Q6に関連する回答

・“耳を英語耳にしよう”でどのように書いたらよいかわからなかった。

Q9に関連する回答

・頑張ったことを書く部分で、結果と学んだことを分けてあるので書きづらかった。一緒にしてほしい。

Q4に関連する回答は特になかった。

また、質問Q12に対する回答の主なものとして次のようなものがあった。

・本を読もうという意欲が湧いた。

表2 アンケート回答の集計（ $N = 171$ ）

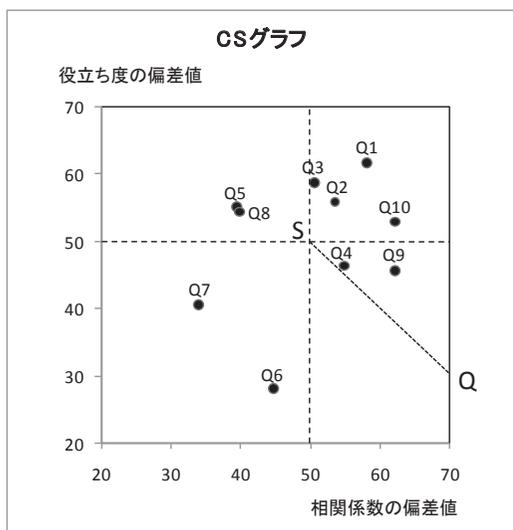
回答	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
5	101	66	80	72	72	43	56	81	70	78	65
4	47	74	64	55	67	57	63	59	56	56	65
3	18	24	22	38	25	48	41	28	31	26	28
2	5	7	5	3	6	15	7	2	13	10	10
1	0	0	0	3	0	8	3	1	0	0	0
0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	3
計	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171

表3 相関係数と役立ち度（いずれも偏差値）（ $N = 164$ ）

項目	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10
相関係数	58.2	53.6	50.6	54.9	39.5	44.8	34.0	39.9	62.3	62.3
役立ち度	61.7	55.9	48.8	46.4	55.2	28.2	40.6	54.5	45.7	53.0

表4 教材の改善度指数

項目	Q6	Q9	Q4	Q7	Q10	Q1	Q2	Q3	Q5	Q8
改善度指数	34.8	16.3	9.8	5.3	3.4	-2.5	-7.9	-15.0	-15.1	-16.6



(N=164)

図4 教材の役立ち度のCSグラフ

- ・改めて自分のことを考えるきっかけになった。
- ・このシートのおかげで新聞を読む興味を持つことができた。
- ・推薦入試合格者にとっては時間もたっぷりあったので良いウォーミングアップになった。
- ・どの項目も就職に役立つ事なのでやっていると為になった。
- ・自分がどのように成長したかを考えることが出来る。
- ・これから大学に向けて頑張ろうという意識がこのノートを書いていて強くなった。
- ・自分から進んで新聞やニュースを見るようになった。
- ・自分がこれからどんな事をやっていけば良いのか分かった。
- ・イラストや文章が親しみやすく、無理矢理ではなく“自分から”やろうという気持ちになった。
- ・自分の将来をイメージしやすかった。

6. まとめ

今回、入学前教育用教材としてのキャリアデザインシート「キャリア開発へのウォーミングアップ」を開発し、入学予定者の自学自習用として活用した。入学後に実施したアンケート調査による以上の結果からは、「耳を英語耳にしよう」と「頑張ったことの記録を残そう」、次いで「社会情勢に敏感になろう」の3つが、役立ち具合に対する評価がやや低かったことがうかがえた。

「耳を英語耳にしよう」は、聴覚の訓練を要求するもので、ある意味スポーツの身体訓練を要するのと似たようなものでもある。このため高校生にとっては実行するのにやや困難さがあつたのではないかと推察される。

「頑張ったことの記録を残そう」は、自由記述にもあつたようにやや記入の仕方がやりにくかつたようである。

「社会情勢に敏感になろう」は、新聞記事やニュースの概要を書くだけではなく、自分独自の論旨でまとめることにまだ充分には慣れていないことによるものと思われる。

これらの結果を踏まえ、役立ち具合がよくなかつた項目については、内容や表現を変えて、より使いやすい入学前教育用教材に改良していく予定である。

また、入学前教材自体の改良だけでなく、この教材が入学予定者にどう活用され、行動とどう結びつくかが重要なところである。今年度は「キャリア開発へのウォーミングアップ」の冊子を1年次前学期の必修科目「大学基礎演習」で使用されるファイルに、「大学基礎演習」の資料とともに綴じこませた。さらに、前学期中に実施するクラスの指導主任による個人面談の際に持参させることで、活用のされ具合のチェックを指導主任が行った。今後は、入学前教材「キャリア開発へのウォーミングアップ」の使いこなしの指導法も含めて、スクーリングでの指導内容とともに、さらに検討と改良を重ねていく必要があると思っている。

参考文献

- [1] 酒見康廣, 小久保美代子, キャリア教育教材「キャリア開発シナリオ帳」の開発, 中村学園大学・中村学園大学短期大学部プロジェクト研究成果報告書, 第1号, キャリア開発学科別冊, 2009, 9-22
- [2] 酒見康廣, 小久保美代子, キャリアデザインシート(改良版)による学習効果, 中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要, 第42号, 2010, 71-77
- [3] 菅民郎, らくらく図解 アンケート分析教室, オーム社, 2007